

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 27. 5. 19 第 189 回国会第 10 号

5 月 19 日（火）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 松木 けんこう君（維新）（理事井坂信彦君今 19 日委員辞任につきその補欠）

2 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・林農林水産大臣、西村内閣府副大臣、あべ農林水産副大臣、小泉内閣府大臣政務官、大塚法務大臣政務官、中川農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

勝 沼 栄 明君（自民）

- ・漁獲量、漁業就業者が減少し、我が国の水産業が厳しい現状にある要因は何か。
- ・「資源管理のあり方検討会」の取りまとめを受け、今後の水産資源管理の取組についてどのように考えているのか。
- ・水産日本の復活に向けた農林水産大臣の決意を伺いたい。

石 田 祝 稔君（公明）

- ・農地中間管理機構の平成 26 年度における担い手に対する農地集積の実績を伺いたい。
- ・人・農地プランと農地中間管理機構の連携をどのように行うのか。
- ・農地中間管理事業と農業農村整備事業を一体的に取り組むべきではないか。

鷺 尾 英一郎君（民主）

- ・稲作農業の体質強化緊急対策事業の実績についてどのように評価するのか。
- ・農業の現場において外国人技能実習生が労働力として重要とされていることについて、農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・所有者の所在不明等の土地のほ場整備にどのように取り組むのか。

玉 木 雄一郎君（民主）

- ・農協系統組織の政治的中立性の確保について、どのように考えているのか。
- ・T P P 交渉に係る情報の開示に向けて、どのような検討を行っているのか。
- ・農地中間管理機構の平成 26 年度における担い手に対する農地集積の実績のうち、非担い手から担い手に農地が集積された面積を伺いたい。

斉 藤 和 子君（共産）

- ・T P A 法案の動向と T P P 交渉の妥結には緊密な関係があると考えているのか。
- ・T P A 法案の審議の見通しについて、米国大統領選挙及び米国議会の休暇等を踏まえ、どのように考えているのか。
- ・T P P 交渉からの脱退が国益を守ることになるのではないか。

村 岡 敏 英君（維新）

- ・米国は、T P A 法案が米国議会上院を通過したら T P P 交渉を妥結したいとの戦略を描いているとの報道があるが、どのように対応する考えか。
- ・農地中間管理機構の活動状況等に関するアンケート調査結果により明らかになった問題点について、解決策をどのように考えているのか。
- ・台湾による日本産食品の輸入規制の要因と言われている産地偽装問題について、どのように把握しているのか。

3 農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案（内閣提出第 71 号）

農業協同組合法の一部を改正する法律案（岸本周平君外 3 名提出、衆法第 21 号）

- ・ 林農林水産大臣及び提出者小山展弘君（民主）からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。